

【質問票】

評価対象施策 A「放課後の活動場所の充実」

	質 問	回 答
1	学童保育所、小学生クラブ、放課後クラブ、こどもクラブ、KoKoA 等の放課後の活動場所を体系的に示した資料を作成していますか。	放課後の活動場所に特化した資料の作成は行っていませんが、「こまえ子育てガイドブック」等に学童クラブ、KoKoA、児童館・児童センター等の情報を掲載しております。
2	学童保育所等入所（入会）のしおりの配付場所について、教えてください。	学童クラブに在籍している 1～5 年生の児童の保護者にしおりのご案内を出しております。また、市内の保育園・幼稚園の 5 歳児クラスの保護者にしおりを配布しているほか、市役所等でも配布しております。
3	私立小学校に在籍している児童も学童クラブは利用可能ですか。 また、利用可能な場合、私立小学校在籍児童への情報提供はどのように行っていますか。	学童クラブは主に市内在住の方を対象としておりますので、私立小学校在籍の児童でも利用可能です。直接私立小学校に情報提供は行っていませんが、新一年生となる市内保育園・幼稚園の 5 歳児クラスの保護者にしおりを渡すことで周知を図っております。また、それ以外に広報やホームページ、SNS を通じて広く情報提供を行っております。
4	少子化により学童保育所等が不要となった場合の対応はどうなりますか。	現在の段階では、学童クラブへの入所を望む児童は増加し続けており、待機となっている児童もおります。しかしながら、将来的には小学生人口が減少していき、学童クラブへの需要が大幅に落ち込んできましたら、他の事業への転用や縮小・閉所などその時の需要に即した運用を検討していくこととなります。
5	KoKoA の支援員の充足率、年齢構成について教えてください。また、支援員の確保について課題（募集しても応募がない等）があれば教えてください。	KoKoA の安全管理員は 20～60 歳代まで幅広く所属しており、65 歳で定年となります。各 KoKoA で 15～25 人くらいの安全管理委員の登録があるため、今すぐ人材不足で運営ができないような状況ではございません。年齢構成としては 50 歳代が多くなっておりますので、人材の世代交代を進めていくことが課題として捉えております。
6	プレーパークの職員の充足率について教えてください。また、職員の確保について課題（募集しても応募がない等）があれば教えてください。	プレーパークは委託事業として行っており、現在プレーワーカーを含めて 14 名の職員がおります。人材の確保については応募が少ないことは課題であると伺っております。
7	プレーパークは利用者を増やす方向性となっておりますが、予算額が 5 年間横ばいであり、予算を増額させずに利用者を増やして対応することは可能ですか。	予算の範囲内で事業者の創意工夫により、運営委託をお願いしております。
8	野川えんがわこまちに、財政的支援は行っていますか。	野川のえんがわこまちへは、「放課後の活動場所の充実」に関連する施策として、補助事業ではなく、子ども・若者の居場所事業を令和 5 年度より委託しております。本事業は、子ども・若者が気軽に立ち寄れる地域の居場所を創設し、子どもに対する学習支援や保護者に対する養育支援等の生活支援を

		<p>行うことで、ひきこもり等をはじめとする生きづらさを抱える子ども・若者やその保護者に対して包括的な支援を行い、地域で安心して暮らすことができるための支援をすることを目的として実施するもので、主な事業内容は、（１）居場所の提供事業、（２）子どもに対する学習支援事業、（３）親に対する養育支援事業、の３事業を主な柱として実施しています。</p>
9	<p>令和 6 年度の待機児童のうち、低学年（１年～３年生）の人数と割合を教えてください。</p>	<p>令和 6 年度の待機児童の内訳は、低学年 65 人（40.1%）、高学年 97 人（59.9%）となります。</p> <p>【内訳】</p> <p>1 年生 13 人 2 年生 27 人 3 年生 25 人 4 年生 83 人 5 年生 11 人 6 年生 3 人 合計 162 人</p>